

(原文はインドネシア語。以下はFoE Japan による和訳)

東ルウ県トウティ郡

ロエハ・ラヤ胡椒農民団体及びロエハ・ラヤ女性団体

住所：南スラウェシ州東ルウ県トウティ郡ロエハ及びランテ・アギン村

於ランテ・アギン、2023 年 9 月

添付書類：5 件

件名：PT Vale Indonesia のプロジェクト周辺のロエハ・ラヤの胡椒農家及び女性に対する特に貧困化、立退き、人権侵害を回避するため、日本企業の事業活動による悪影響のモニタリングを求める要請書

在インドネシア日本国大使 様

ロエハ・ラヤ胡椒農民団体及びロエハ・ラヤ女性団体のメンバーであり、胡椒農家、胡椒集荷業者、農業労働者、漁師、取引業者として生計を立てている私たちロエハ・ラヤ（ロエハ村、ランテ・アギン村、バンティラン村、マシク村、トカリンボ村）の住民は、この書簡を通じて、南スラウェシ州東ルウ県トウティ郡タナマリア鉱区における PT Vale Indonesia（PTVI）の採掘プロジェクト周辺のロエハ・ラヤの胡椒農家及び女性に対する特に貧困化、立退き、人権侵害を回避するため、日本企業の事業活動による悪影響のモニタリングを在インドネシア日本国大使に要請します。

現在、日本企業の住友金属鉱山は PTVI の株式の 15%を保有しています。また、三井物産も PTVI の親会社である Vale SA（ブラジル）の株式を保有しています。さらに、PTVI の採掘及び精錬所からの製品は、すべて日本に輸出されています。つまり、日本政府と企業は、PTVI の採掘と精錬活動から大きな利益を得ている当事者なのです。したがって、私たち農民と女性は、特にタナマリア鉱区（PTVI の採掘鉱区）周辺の農民、女性、子どもたちに極度の貧困をもたらしかねない脅迫、暴力、強制立退きを回避するため、日本政府に対し、インドネシアにおける治外法権の義務（ETOs）に係る方針を実行するよう要請します。

私たちは、地域社会で起こるであろう環境的、社会的、経済的影響に関する十分な理解と大きな懸念に基づき、この要請書を提出します。私たちは、これまでロエハ村、ランテ・アギ

ン村、マシク村、バンティラン村、トカリンボ村の 3,342 人の農民の主な生計手段となってきた、2003 年以来栽培・維持されている農民の所有する 4,239.8 ヘクタールの胡椒畑をタナマリア鉱区における PTVI の鉱山拡張が破壊してしまうと考えています。

一方、ロエハ村とランテ・アギン村の農家の畑からの胡椒生産量は 24,544 トンに達しています。胡椒の生産は、南スラウェシ州東ルウ県トウティ郡のコミュニティの経済を改善しました。今日では、コミュニティ、特に胡椒農家と女性は、胡椒畑のおかげで豊かに暮らしています。

したがって、私たちは、タナマリア鉱区におけるニッケル鉱山の拡張は、現在、そして将来世代のロエハ・ラヤの住民や、胡椒の集荷業者、肥料の販売業者、取引業者、輸出業者といった他の経済主体の生活に長い苦しみをもたらすと強く確信しています。

タナマリア鉱区の熱帯雨林の生態系も同様です。この森林は、コミュニティの胡椒畑の緩衝地帯であると同時に、ロエハ・ラヤのコミュニティが毎日使用する水の水源でもあります。さらに、タナマリア鉱区の 21,020.63 ヘクタールの熱帯雨林（バトウ・バッシ、バルン・ボンデ、バルン・タラン、バルン・レモ、タルエ、タッペランマッティ、ケマ、レモ・レモ、レア・レア、トマ・ベタ、レンコナ、ラントウア）の生態系機能は、コミュニティにとって不可欠であるだけでなく、保護地域であるトウティ湖の生態系など、他の生態系にとっても重要です。そして今日に至るまで、タナマリア鉱区の熱帯雨林は、スラウェシ固有の動植物にとって重要な生息地です。したがって、私たちは、自分たちの地域における PTVI のニッケル鉱山の拡張に強く反対します。

以上のことから、私たちロエハ・ラヤのコミュニティは、インドネシアの NGOs とともに、タナマリア鉱区における PTVI のニッケル採掘拡張計画を拒否します。そして、PTVI のコンセッションが森林地帯や農家や女性たちの胡椒畑にあることを考慮し、南スラウェシにおいて日本政府が治外法権の方針を実行すること、すなわち、PTVI における日本企業の事業活動による悪影響をモニタリングし、回避することを、私たちは在インドネシア日本国大使に要請します。

最後に、私たちは、自分たちのコミュニティと子供たちを苦しめたくないのです。PTVI のコンセッションからタナマリア鉱区の農家や女性たちの胡椒畑が除外されるよう、在インドネシア日本国大使が私たちを支援してくださるよう、切に願っています。私たちはまた、PTVI による農家の胡椒畑の破壊や PTVI の鉱山拡張に対するコミュニティの反対の結果として、コミュニティに紛争や不当逮捕といった影響が及ぶことを望んでいません。

ご検討いただくため、以下の書類を添付いたします。

1. 胡椒農家、女性、胡椒畑の農業労働者の要請者リスト
2. ファクトシート「ニッケル採掘拡張の渦中にある群島の胡椒畑」
3. WALHI 南スラウェシとスラウェシ工科大学の共同研究成果「南スラウェシ州東ルウ県タナマリア地域の栽培農家の民族学的調査と経済評価」
4. タナマリア鉱区における森林、胡椒畑、PT Vale Indonesia のコンセッションの重なりに関する地図
5. 農家と女性からインドネシア共和国大統領に宛てた書簡

ここに要請書を提出させていただきます。ありがとうございます。

ジャカルタにて

ロエハ・ラヤ胡椒農民団体

ロエハ・ラヤ女性団体

(以下、農家 1,103 名、女性 390 名の署名)